

ドキュメントあいまい度診断ツール

**ClearDoc™**

改善文参考資料

---

Version 1.0



## 目次

1. 改善文参考資料のご利用方法 .....	1
2. 改善文例 .....	2
3. お問い合わせ先 .....	5

※PROVEQ は株式会社シーイーシーの登録商標です。

※Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。

## 1. 改善文参考資料のご利用方法

ClearDoc は、ドキュメントに書かれた日本語文の「あいまいさ」を計測するツールです。複数の人が読んだ際、様々な解釈が生まれるような文章の「複雑さ」を「あいまい度指数」として数値化します。様々な解釈できる文は誤理解につながるため、端的な文に改善することを推奨します。

改善文参考資料には誤理解につながる典型例を記載します。この例を参考に、端的な文への改善をご検討ください。

改善文参考資料は、原文に書かれている条件をできるだけ箇条書きにしています。

また、あいまい度指数を「4」未満にするよう改善文例を記載しています。しかし、この書き方がすべてではありませんので、最適な文に書き換えることを推奨します。

## 2. 改善文例

### 2.1. パターン1

#### 【原文】

要因ガイド番号2は、「全て、未満、一部」などの語と「場合、際、とき」などの語がそれぞれ1つ以上含まれている場合に表示されるが、「全て、未満、一部」などの語のみが2つ以上含まれている場合は表示されない。

#### 【原文のあいまい度指数】

6.902

【文の構造】 ※テスト設計の視点で構造を分割しています。

要因ガイド番号2は、
「全て、未満、一部」
などの語と
「場合、際、とき」
などの語が
それぞれ1つ以上含まれている場合に
表示されるが、
「全て、未満、一部」
などの語のみが
2つ以上含まれている場合は
表示されない。

#### 【改善文例】

要因ガイド番号2は、下記①と②の双方が1つ以上含まれている場合に表示される。

- ① 「全て、以上、以下、未満、前後、一部、すべて、部分的、任意」
- ② 「場合、際、とき、ため、後」

ただし、①のみが2つ以上含まれている場合、要因ガイド番号2は表示されない

#### 【改善文例のあいまい度指数】

- 3.658 （「要因ガイド番号は・・・」の文）
- 1.524 （「①「全て、以上・・・」の文）
- 1.176 （「②「場合、際、・・・」の文）
- 2.480 （「ただし、①のみが・・・」の文）

## 2.2.パターン2

### 【原文】

Microsoft Office Word のオートシェイプに書かれた文は計測対象外であるが、表に書かれた文は計測対象とし、Microsoft Office Excel でも同仕様とする。

### 【原文のあいまい度指数】

5.165

### 【文の構造】 ※テスト設計の視点で構造を分割しています。

Microsoft Office Word のオートシェイプに書かれた文は
計測対象外であるが、
表に書かれた文は
計測対象とし、
Microsoft Office Excel でも同仕様とする。

### 【改善文例】

あいまい度計測の対象文は以下とする。

Microsoft Office Word および Microsoft Office Excel において、オートシェイプに書かれた文は計測対象外とする。

Microsoft Office Word の表に書かれた文は計測対象とする。

### 【改善文例のあいまい度指数】

1.956 (「あいまい度計測の対象文は・・・」の文)

2.107 (「Microsoft Office Word および・・・」の文)

1.921 (「Microsoft Office Word の表に・・・」の文)

### 2.3.パターン3

#### 【原文】

要因ガイド番号1は、「場合、際、とき、ため、後」の語が2つ以上で表示し、「場合」が2つの場合や「場合」と「際」がそれぞれ1つ、計2つの場合にも表示するが、指数が「3」以下の場合には表示しない。

#### 【原文のあいまい度指数】

7.355

【文の構造】※テスト設計の視点で構造を分割しています。

要因ガイド番号1は、
「場合、際、とき、ため、後」
の語が
2つ以上で表示し、
「場合」が
2つの場合や
「場合」と「際」が
それぞれ1つ、
計2つの場合にも表示するが、
指数が
「3」以下の場合には
表示しない。

#### 【改善文例】

要因ガイド番号1は、①～③のいずれかに該当する場合に表示される。

- ① 「場合、際、とき、ため、後」の語が2つ以上書かれている場合
- ② 「場合」が2つ以上書かれている場合
- ③ 「場合」と「際」がそれぞれ1つ、計2つ以上書かれている場合

①～③の条件に加え、指数が「3」以下の文では、要因ガイド番号1を表示しないこととする。

- ① は「場合」以外でも同様とする。
- ② は「場合」と「際」以外でも同様とする。

## 【改善文例のあいまい度指数】

- 1.921 （「要因ガイド番号1は、・・・」の文）
- 2.778 （「場合、際、とき、ため、後」の・・・」の文）
- 1.651 （「「場合」が2つ以上・・・」の文）
- 2.813 （「「場合」と「際」が・・・」の文）
- 3.227 （「①～③の条件に加え、・・・」の文）
- 1.875 （「①は「場合」以外でも・・・」の文）
- 2.776 （「②は「場合」と「際」以外でも・・・」の文）

## 3. お問い合わせ先

ClearDoc の使い方、操作方法についてのお問い合わせは、下記メールアドレスまでお送りください。

PROVEQ カスタマーセンター  
問い合わせ窓口

[PROVEQ-sales@cec-ltd.co.jp](mailto:PROVEQ-sales@cec-ltd.co.jp)

以上